

第 11 回コンクール大賞審査委員特別賞の選考について

「わが村は美しく一北海道」運動が目指す姿とは、幾世代にも渡り営まれてきた農林水産業の健全な生産活動によってもたらされる「景観」、「地域特産物」、「人の交流」という 3 つの要素が、相互に関連し合いながら全体として調和を保ち、総合的に地域住民の生活に溶け込んで形成される「豊かさ」が醸し出す「美しい農山漁村」である。

この観点から第 11 回コンクール大賞審査において、優秀賞 12 団体の中から先導性、モデル性の高い活動内容を含む 2 団体を大賞として選考したところである。

近年、北海道の農山漁村においては過疎化や少子化・高齢化が進んでおり、地域が理想としている活動の継続が危惧されている。このような状況から、全道各地の地域資源の魅力に気づき活動している諸団体の参考となり、また、今後とも継続した活動が期待される 2 団体について、第 11 回コンクール大賞審査委員会は、「第 11 回コンクール大賞審査委員特別賞」として表彰し、下記のように選考するものとした。

大賞審査委員特別賞団体名：

特定非営利活動法人 山のない北村の輝き（岩見沢市）

多くの関係者が継続して活動する体制が構築され、河川環境の維持、植樹活動、農泊やキャンプなどの体験企画、地域の歴史見学など多岐にわたる取り組みによる先進的事例

～選考ポイント～

- 地域住民主体で河川の景観保全や植樹活動などを開始。
- 農泊、農作業体験など地域住民が一体となってアイデアを出し合い、地域活性化に繋がる様々な取組を展開。
- 地域の歴史や文化を残すことで大人はもちろん子供たちにも好影響を及ぼし、インバウンド顧客の受入れにまで展開をしている活動は、他地域のモデルとなる先進的な事例として高く評価。
- 今後も北村地域の風土を保全しながらも、若者や外部の人々も積極的に参加できる開かれたものへと発展し、持続可能な活動となることを期待。

大賞審査委員特別賞団体名：ピロロツーリズム推進協議会（広尾町）

若者や地域外の目線を入れた取り組みによる交流人口の増加、観光振興だけでなく多くの団体と連携し地域全体の活性化に寄与していくことが今後も期待される活動

～選考ポイント～

- 地元高校生と協力した地域特産品の商品開発など、一次産業従事者、高校生、住民を巻き込んで、楽しみながら住民一体型の「地域づくり」に貢献。
- 地域観光ガイドブックの発行やSNSでの効果的な発信など、デザイン的なアイデアが随所に活かされ、広尾町の魅力向上に寄与。
- 広尾町の酪農と漁業と林業の一次産業をベースに体験型観光から特産品開発までの観光地域づくりの好事例として高く評価。
- 地域外の目線を入れた新しいアイデアと地域の「若者」の活力ある行動力が融合し、地域住民を巻き込むことで、広尾町の持続的な発展と新たな可能性を期待。